

めぐみイエス・キリスト教会

2025年3月16日(日)第三主日礼拝

午前10時より

週報「通算第750号」



2025年標題聖句

イザヤ書40章30節～31節

《若者も疲れて力尽き、若い男たちも、つまずき倒れる。しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように、翼を広げて上ることができる。走っても力衰えず、歩いても疲れぬ。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌420「雨を降り注ぎ」 p. 676

【交読文】 No.52 ルカの福音書1章(抜粋) p. 921

【賛美Ⅱ】 新聖歌108「丘に立てる荒削りの」p. 150

【使徒信条・主の祈り】

【前回説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲「神様は」

【聖書朗読】 ルカの福音書9章1節～6節

【礼拝説教】 《十二弟子の派遣》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所 ルカ9章1節～6節（新約p.130下段）

9:1 イエスは十二人を呼び集めて、すべての悪霊を制して病気を癒やす力と権威を、彼らにお授けになった。

9:2 そして、神の国を宣べ伝え、病人を治すために、こう言って彼らを遣わされた。

9:3 「旅には何も持って行かないようにしなさい。杖も袋もパンも金もです。また下着も、それぞれ二枚持つてはいけません。

9:4 どの家に入っても、そこにとどまり、そこから出かけなさい。

9:5 人々があなたがたを受け入れないなら、その町を出て行くときに、彼らに対する証言として、足のちりを払い落とすなさい。」

9:6 十二人は出て行って、村から村へと巡りながら、いたるところで福音を宣べ伝え、癒やしを行った。

●ポイント1. 十二弟子とは？

※ルカの福音書6章12節～16節「弟子たちの中から」 (新約p.120)

6:12 そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈りながら夜を明かされた。

6:13 そして、夜が明けると弟子たちを呼び寄せ、その中から十二人を選び、彼らに使徒という名をお与えになった。

6:14 すなわち、ペテロという名を与えられたシモンとその兄弟アンデレ、そしてヤコブ、ヨハネ、ピリポ、バルトロマイ、

6:15 マタイ、トマス、アルパヨの子ヤコブ、熱心党员と呼ばれていたシモン、

6:16 ヤコブの子ユダ、イスカリオテのユダで、このユダが裏切る者となった。

●ポイント2. チーム伝道とは？

※マルコの福音書6章7節「二人ずつのチーム分け」 (新約p.76)

6:7 また、十二人を呼び、二人ずつ遣わし始めて、彼らに汚れた霊を制する権威をお授けになった。

※使徒の働き1章13節「ヨハネ・マルコの家の上にて」 (新約p.232)

1:13 彼らは町に入ると、泊まっている屋上の部屋に上がった。この人たちは、ペテロとヨハネとヤコブとアンデレ、ピリポとトマス、バルトロマイとマタイ、アルパヨの子ヤコブと熱心党员シモンとヤコブの子ユダであった。

●ポイント3. 共観福音書における平行記事から

※マタイの福音書10章5節～6節「失われた羊の所に」 (新約p.17)

10:5 イエスはこの十二人を遣わす際、彼らにこう命じられた。「異邦人の道に行ってははいけません。また、サマリア人の町に入ってははいけません。

10:6 むしろ、イスラエルの家の失われた羊たちの所に行きなさい。」

◎先週のメッセージ【ヤイロの娘の生き返り】

《先々週からの続きとなります。マルコの福音書では、主がヤイロの娘に言われた言葉がアラム語で書かれています。「タリタ、クミ」、「クミ」は「クム」の命令形です。この意味は「少女よ、あなたに言う。起きよ。」であって、なぜマルコはあえてこのような書き方をしたのでしょうか。

マルコは、ペテロのアラム語のメッセージを、ギリシヤ語に通訳して人々に伝えました。『「タリタ。クミ」と言われた主イエスの言葉が、非常に強い権威のもとに、語られたのであり、その主の言葉が、ペテロの霊と魂に深く刻まれたからです。』と、尾山先生は言われています。

会堂司ヤイロは、カペナウムにて主イエスが行なわれた最初の奇跡を直に目撃しています。主イエスに、娘の癒やしを願い出た時には、すでにヤイロは、主に対する信仰を持っていたと思われれます。「お嬢さんは亡くなりました。もう、先生を煩わすことはありません。」この時、ヤイロは、「だめだ。間に合わなかった。」と思ったはずです。「恐れなくて、ただ信じなさい。そうすれば、娘は救われます。」

私たちは、どうしても恐れる者なのです。また、何を信じるのかではなく、誰を信じるのかと言うことです。私たちが信じるお方はただ一人、主イエス・キリスト、このお方だけを、ただ信じるのです。「泣かなくてよい。死んだのではなく眠っているのです。」

主イエスは少女の手を取って、命じられます。「タリタ、クミ。」

その時、奇跡が起きます。少女はただちに起き上がり、そして歩き始めます。ヤイロの十二歳になる娘は、主イエスが死から生き返らせた最初の奇跡となります。この出来事を通して、ヤイロと妻はさらなる信仰を持ち、また三人の弟子たちは、主が「命をつかさどるお方」であることを、改めて認識したに違いありません。私たちは、たとえ何があっても、このお方を信じるのです。このお方に付き従って行くのです。それこそが、私たちクリスチャンが、唯一生きる道なのですから。》

◎お知らせ

※次回は2025年3月23日午前10時より、通常通り行ないます。

